

今回は15号、16号同時発行です！

第16号では8月25日～26日にかけて行われたSDGs Daysの2年生の研究テーマの発表と留学生との交流の様子をお伝えします。

運営指導委員へのテーマ発表

編集

2-2 後藤大輝、大岡知輝

64期生のSDGs Days初日には各代表班による研究テーマの発表がありました。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、視聴覚室で行われた発表を各クラスに中継して聞くという新しい手法で行われたため、少し新鮮な気持ちで発表を聞いたのではないのでしょうか。

さて、今回の発表会ではスポーツ、健康、人文、社会、ものづくり、テクノロジー、物質、生命、エネルギー、地球の10の分野でそれぞれの代表が自分たちの研究テーマ、仮説、計画などを発表、運営指導委員会の方々からそれに対するアドバイスやコメントをいただきました。「SDGsに関するゲームを作る」や「魚を使わずにフィレオフィッシュを再現する」など着眼点が面白いものが多く、加えて仮説や計画が明確になっていたため自らの研究の役に立ったという人も多いのではないかと思います。また同時に発表班の人たちは準備の段階で自分たちの研究テーマを見直し、説明するためのPowerPointを作る中で、研究をもっと明確で具体的なものにできたのではないのでしょうか。



グループ代表班	研究名
スポーツ2班	温度や気温によるバドミントンシャトルの軌道の違い
健康1班	ゲームで集中力をあげる
人文4班	言葉の意味をとらえるときに最も重要なことは何か
社会6班	売店の売り上げをあげたい
創作4班	魚を使わずに魚料理を作ろう！
テクノロジー2班	SDGsに関するゲームの作成
物質5班	プラの代替品を寒天や貝殻を用いて自然由来のもので作る
生命7班	ミドリムシの摂食により、食物の栄養価を高める
エネルギー3班	ビル風を利用して風力発電をしよう
地球3班	雑草で発電しよう

発表班にインタビュー！

人文4班代表：河野日菜子

色々な人から意見をもらうことで、自分たちの課題や明確にしなければいけないところがわかって良かったです。

今後もテーマを深めつつ頑張りたいです。

創作4班代表：神谷知佳

大学の教授や教育委員会の人たちなどたくさんの方の前で発表したことで、より自分たちの研究について深めることができ良かったです。

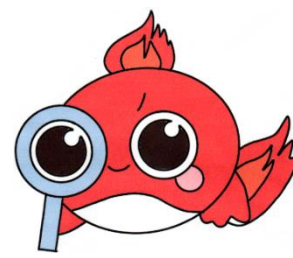


←発表練習の様子

教室での視聴でした→



留学生との交流



64期生のSDGs Day 2日目は、留学生の方たちを招いて開催されました。

1限目では、視聴覚室から各教室にオンラインで留学生の方たちの母国についてのクイズ大会を行いました。中には、非常に難しいものもあり、楽しみながら考え、いろんな国について知ることができました。

2限目では、留学生の方の、現在取り組んでいる研究などについてのお話を聞きました。2年3組の前半クラスでお話してくださったのは、ネパール出身のアルファさんという方でした。アルファさんは、東京大学の大学院の、日本人の帰国子女の方が一人と、その他は外国出身の方たちが在籍しているという研究室で、日々、医学について学ばれているそうです。

ネパールでは、日本やそのほかの国と比べ、医療体制が整っておらず、アルファさんは、特に新生児と妊婦さんに焦点を当て、ネパールの医療体制の改善に取り組んでいきたいということでした。お話の中で、病院の床に寝かされている患者さんの写真を見て、世界では国によって、経済的、衛生的、技術的に「大きな差がある」ことを痛感しました。



(上)2年7組と留学生の方との交流の様子

また、アルファさんは、ネパールでは義務教育での、初等、中等教育の年数が日本とは異なることや、教育の質が良くなく、日本で教育を受けられることは幸せであることをお話しされていました。

私たちのクラスでは時間を過ぎてしまうほど多くの質問が出て、留学する上で日本を選んだ理由や、ネパールの医学で特に改善が必要だと思う点など、細かいところまで答えていただきました。

3限目では、今度は私たち一人ひとりの研究内容について、ポスターを使って発表しました。

アルファさんはメモを取りながら私たちを超えるほど多くの質問をしてくださり、私たちの対応力、英語力が試されました。

普段研究している班での発表ではなく、一人での発表で、自分と留学生との一対一でのコミュニケーションになったので、違った緊張感のある時間となりましたが、多くの研究に興味をもってもらうことができ、これからの研究のためにもなったと思います。

また、この質問の流れの中で、SDGsやジェンダー平等について日本ではもっと考えるべきだとおっしゃっていた場面があり、私たちの多くが考えるよりも身近な問題であることにも気づかされました。

今回の留学生の方たちとの交流を通して、違った視点、文化などを学べたことに加え、英語で話す、聞く力の必要性を大いに感じました。また、留学生の方の人間性に触れ、親近感を持たれた点や、考え方や育ちを知り、違いを感じた点があり、それぞれ新鮮な感覚を持つことができました。このような体験は私たちにとってとても貴重なものなので今後SDGsについては世界について考える際にきっと生きてくると思いました。今回のSDGs Dayに参加してくださった留学生の方々、このような機会をくださってありがとうございました。



(下)2年5組での交流の様子